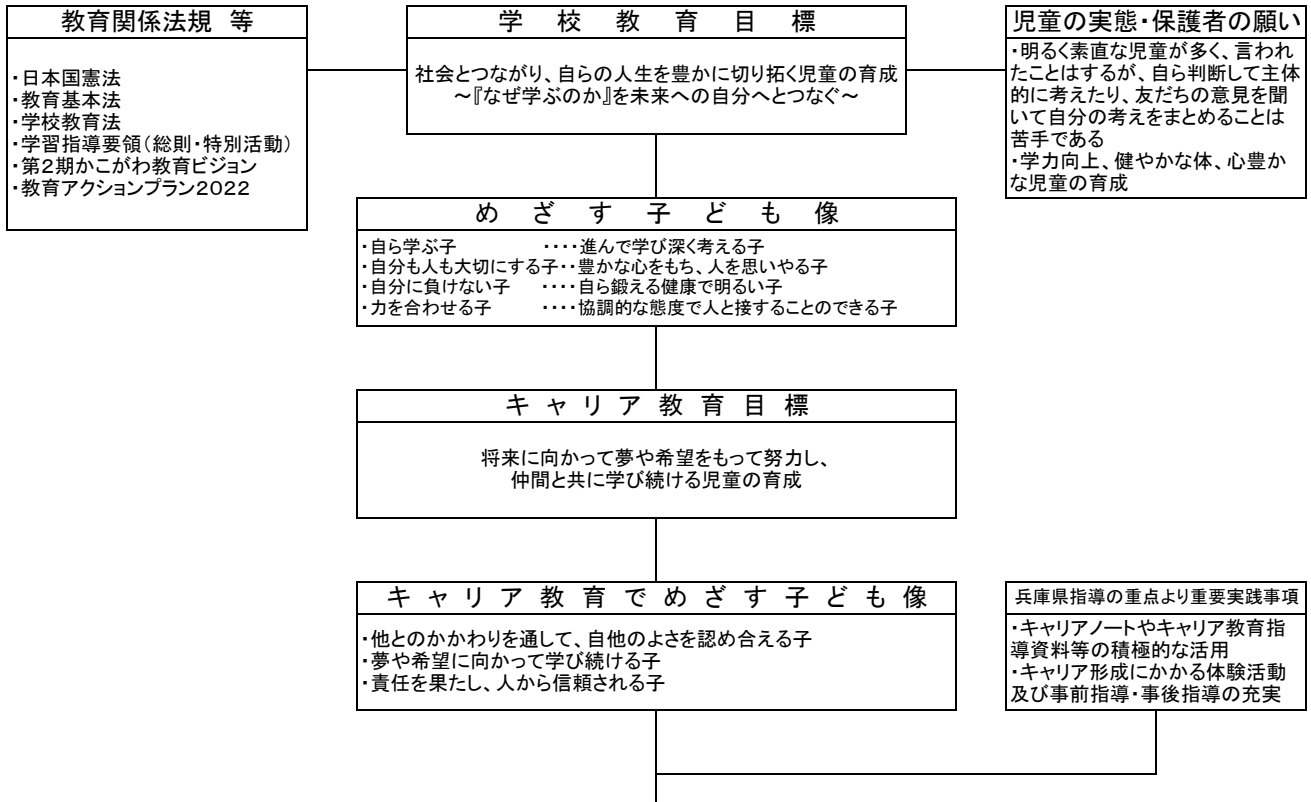


令和8年度 加古川小学校 キャリア教育全体計画

研究テーマ 兵庫版「キャリア・パスポート」を活用した12年間の学びをつなぐキャリア教育



キャリア教育で児童に身に付けさせたい力				
	人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
低学年	・友達と仲良く遊び、親切にする。 ・お世話になった人に感謝する。 ・気持ちのよいあいさつや返事をする。 ・「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言う。 ・自分の考えや思いをみんなの前で話す。 ・友達と協力して仕事をする。	・自分の好きなことや得意なこと、いやなことが分かる。 ・自分の好きなもの、大切なものをもつ。 ・学校で「してよいこと」「悪いこと」が分かる。 ・きまりを守って生活する。	・学習のきまりや習慣を身に付ける。 ・作業の準備や片付けをする。 ・決められた時間やきまりを守ろうとする。 ・自分やしなければならぬ勉強や仕事に最後まで取り組む。	・家の手伝いや学級で割り当てられた仕事の必要性が分かる。 ・学校探検や校区探検を通して、身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心をもつ。 ・係や当番活動に最後まで取り組み、大切さが分かる。
中学年	・友達のことを思いやり、親切にする。 ・友達のよいところを認め、励まし合う。 ・友達と協力して学習や活動に取り組む。 ・環境体験学習を通して、地域の人との交流や栽培・生産活動を行う。 ・学習を通して、自分の生活を支えてくれている人に感謝する。	・自分のよいところを見つける。 ・自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、めあてをもって進んで取り組む。 ・してはいけないことが分かり、自制する。 ・自他のよさを認め合い、よくないことに対しては注意し合う。	・調べ学習の方法が分かり進んで取り組む。 ・学習習慣が身に付き、計画を立てて取り組む。 ・将来の夢や希望をもつ。 ・係や当番の仕事に責任を感じ、最後までやり遂げる。 ・自分の力で課題解決のために努力する。	・様々な職業や生き方が分かる。 ・公共施設や商業施設で働く人、農業や工業に携わる人の思いや願い、苦労を知り、働くことの大切さを考える。 ・係や当番活動に進んで関わろうとする。 ・日常生活の学習が将来につながっていることに気づく。
高学年	・話し合いなどに積極的に参加し、自分と異なる意見も理解しようとする。 ・思いやりの気持ちをもち、相手の立場に立って考え行動する。 ・異年齢集団の活動に進んで参加し高学年としての役割と責任を果たそうとする。 ・自然学校を通して、自分の役割を果たし、協力することの大切さを理解する。	・自然学校を通して、自分の思考や感情を律し、集団への連帯意識を高める。 ・自分の長所と短所に気づき、自分らしさを発揮する。 ・自分なりの根拠をもって、自己決定し、行動する。	・将来のことを考える大切さが分かる。 ・学ぶことや働くことの大切さが分かり、学習や生活を見直す。 ・生活や学習上の課題を見つけ、自分の力で解決しようとする。 ・将来の夢や希望を持ち、実現をめざして努力しようとする。	・委員会活動を責任をもって行う。 ・身近な産業や職業の様子やその変化が分かる。 ・施設や職業見学等を通して、働くことの大切さが分かる。 ・学んだり体験したことと生活や職業との関連を考え、将来の姿を描くことができる。

各教科等における内容			
各教科・外国語活動	道徳	総合的な学習の時間	特別活動
・学習習慣を身に付けさせ、基礎的・基本的な学力の定着を図る。 ・学ぶことの大切さを理解させ、めあてをもって意欲的に学習に取り組む態度を育てる。 ・学習課題を明確にもち、主体的・計画的に取り組む力を育てる。	・様々な体験を生かし、道徳的な心情・判断力・実践意欲と態度等の道徳性を養う。 ・自己を見つめ、自他ともによりよく生きようとする心情を育てる。 ・働くことの大切さを知り、進んで働く態度を養う。 ・働くことの大切さや社会に奉仕する喜びを知り、公共のために役立つ実践意欲を培う。	・探究的な学習を通して、自ら課題を見つけ、学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。 ・学び方やものの考え方を身に付け、問題解決や探究活動に主体的・創造的・協同的に取り組む態度を育てる。 ・地域のひと・もの・ことのかかわりを通して、ふるさとのよさについて発見しようとする態度を育てる。	・児童会や各種委員会が計画する活動を通して、自発的・自治的な集団活動を展開させながら、自主的・実践的態度や人とかかわる力を育てる。 ・他者理解や自己理解を通じ、望ましい人間関係の育成に努める。 ・集団の一員としての役割を果たすことで、自己存在感をもたせる。 ・自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

評価
・全国学力学習状況調査の結果分析と授業改善 ・キャリアノートの活用 ・本年度の成果と課題を検討し、次年度へ向けての目標とプランを立てる。